

【報道関係各位】

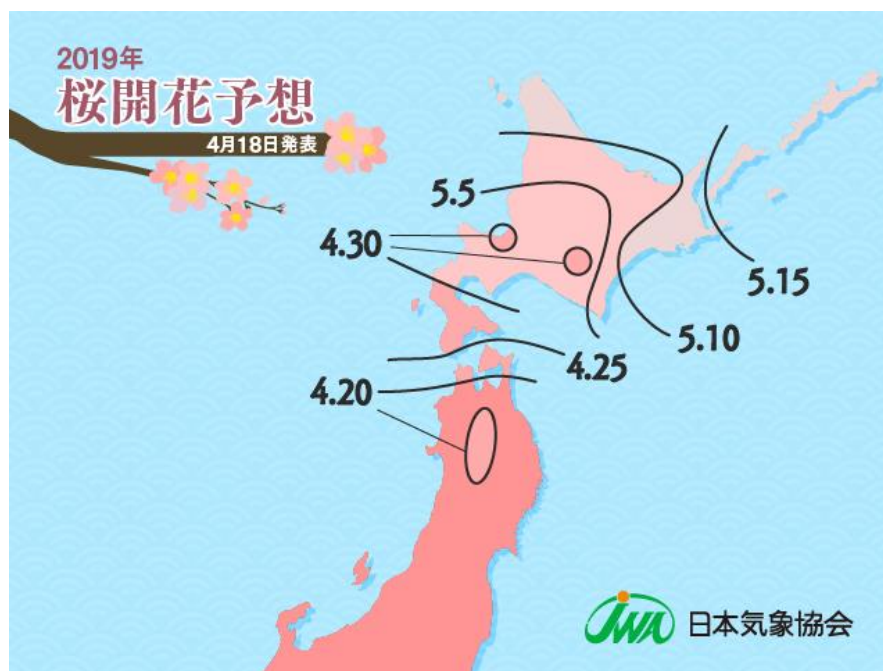
2019年4月18日  
一般財団法人 日本気象協会

## 2019年桜開花予想(第9回) 桜前線はスピードアップして北上！ 10連休前に北海道へ上陸

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、会長:石川 裕己、以下「日本気象協会」)は、日本全国 92 地点の桜(標本木[ソメイヨシノほか]53 地点、自治体・公園など 36 地点、および日本三大桜 3 地点)の開花予想日(第9回)を2019年4月18日(木)に発表します。

- ◆東北北部や北海道の開花・満開日は前回予想より3日前後早まる
- ◆桜前線は10連休前に津軽海峡を渡る 函館は4月26日、札幌は28日に開花
- ◆今週末～来週は東北北部で見ごろ 北海道でも連休中に続々と開花・満開に

### ■2019年桜開花予想前線図



### ■開花と満開の傾向

先週は仙台や福島で満開の桜に雪が積もるなど強い寒の戻りがあり、桜の開花前線は東北南部で足踏みしました。一方、春らしい気温となった今週は桜の花芽が生長し、16日には秋田から開花の便りが届きました。桜の開花前線は東北北部を北上中です。また、17日には東北や北海道で夏日を観測するなど、季節先取りの陽気となり、山形では桜が満開になりました。今週末には東北北部でも見頃を迎えるところがあるでしょう。

この先は一時的に寒の戻りがあるものの、気温は平年並みか高くなるでしょう。このため、桜の開花前線はスピードを速めて北上する見込みです。これから開花する東北北部や北海道の開花・満開日は前回予想より3日前後早まり、青森は4月19日に開花するでしょう。来週後半には津軽海峡を渡り、10連休を前に北海道でも桜が咲き始めるところがありそうです。連休中には続々と開花し、札幌は4月28日に開花、5月1日に満開となる予想です。道北や道東の桜も5月中旬には開花し、北の大地は一気に桜色に染まるでしょう。



## ■日本気象協会 長期予報(気温)

気温	4月下旬	5月上旬・中旬
北日本	平年並か高い	ほぼ平年並

## ■2019年 桜の予想開花日・満開日(主な地点)





	地点	予想開花日	平年開花日	昨年開花日 (2018年)	予想満開日	平年満開日	昨年満開日 (2018年)
福岡県	福岡市	(3月21日)	3月23日	3月19日	(3月29日)	4月1日	3月27日
香川県	高松市	(3月26日)	3月28日	3月24日	(4月4日)	4月5日	3月29日
広島県	広島市	(3月22日)	3月27日	3月22日	(4月3日)	4月4日	3月28日
大阪府	大阪市	(3月27日)	3月28日	3月20日	(4月4日)	4月5日	3月26日
愛知県	名古屋市	(3月22日)	3月26日	3月19日	(4月4日)	4月3日	3月27日
東京都	千代田区	(3月21日)	3月26日	3月17日	(3月27日)	4月3日	3月24日
長野県	長野市	(4月13日)	4月13日	4月2日	(4月18日)	4月17日	4月6日
富山県	富山市	(3月28日)	4月5日	3月27日	(4月5日)	4月10日	3月30日
新潟県	新潟市	(4月5日)	4月9日	4月3日	(4月12日)	4月14日	4月5日
宮城県	仙台市	(4月5日)	4月11日	3月30日	(4月10日)	4月16日	4月4日
北海道	札幌市	4月28日	5月3日	4月26日	5月1日	5月7日	4月29日

※予想開花日、予想満開日の( )はすでに開花や満開になった地点です。

全 92 地点の桜(標本木[ソメイヨシノほか]53 地点、自治体・公園など 36 地点、日本三大桜 3 地点)の予想開花日・予想満開日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『tenki.jp(てんきじえーびー)』桜情報ページ(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)にて公開しています。

また、開花・満開の最新状況は同ページにて1日2回更新予定です。

## ■各地の気象予報士コメント

	日本気象協会 中部支社(菅野 彰太) 東海地方の桜は、開花前後に寒の戻りがあった影響で、満開までの期間が平年より長くなったところが多くなりました。昨年は短く慌ただしい桜シーズンでしたが、今年はゆっくりと満喫できたのではないかと思います。飛騨高山周辺の桜も来週には見頃を迎えるでしょう。
	日本気象協会 長野支店(濱中 弘樹) 先週末には長野市からも開花の便りが届きました。標高差の大きい長野県。これからは桜の山登りが始まります。そして、県内の桜の開花前線もいよいよ終盤へ。期間中、重たい雪の被害を受けた桜もありましたが、平成最後の桜は私たちの目を十分に楽しませてくれました。
	日本気象協会 東北支社(佐藤 理恵子) 今週は初夏を思わせる陽気になった東北地方。北部の桜のつぼみは一気に膨らみました。この先一週間の気温は平年並みの日が多く、北部の桜は次々と開花して、大型連休初めには見頃となるところがあるでしょう。花吹雪や花筏が平成最後を彩るところもありそうです。
	日本気象協会 北海道支社(田嶋 恵) 今週の北海道は平年より暖かい日が多く、内陸では汗ばむ陽気となる日もありました。桜の開花予想は前回予想より早まり、各地とも平年より3日前後早い開花となる見込みです。来週中頃には桜前線は上陸し、大型連休中には道央や道南で満開、道北や道東の内陸でも開花となるでしょう。

日本全国 92 地点の桜(ソメイヨシノほか)の開花・満開予想以外にも、「日本三大桜」と呼ばれている福島県の「三春滝桜」(みはるたきざくら:ベニシダレザクラ)、山梨県の「山高神代桜」(やまたかじんだいざくら:エドヒガンザクラ)、岐阜県の「根尾谷 淡墨桜」(ねおだに うすずみざくら:エドヒガンザクラ)の開花予想を『tenki.jp(てんきじえーびー)』桜情報ページ(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)にて公開しています。

【言葉の説明】

平年:1981～2010年の平均値

かなり早い	: 平年より7日以上早い
早い	: 平年より3日から6日早い
平年並	: 平年との差が2日以内
遅い	: 平年より3日から6日遅い
かなり遅い	: 平年より7日以上遅い



宮城（白石川堤一目千本桜）満開の様子  
(4月13日撮影)

以上



## 参考資料

### 桜開花予想に関するよくあるご質問

#### Q1:桜開花予想の報道発表のスケジュールは？

A1:第1回は2月7日(木)、第2回は2月21日(木)、第3回以降は3月から4月下旬まで毎週木曜日(3月20日のみ水曜日)に発表を予定しています。2月中は予想開花日のみを発表し、3月以降は予想開花日と予想満開日を発表します。

#### Q2:開花日・満開日の基準は？

A2:気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5~6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

#### Q3:予想する地点数は？

A3:2月中は51地点、3月以降は全国で92地点の予想を発表します。予想地点92地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる36地点、および日本三大桜の3地点となります。

#### Q4:日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4:花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。  
2007年から桜の開花予想を実施しており、今年で13年目の取り組みです。

#### Q5:開花予想に使うデータは？

A5:以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。

#### Q6:日本三大桜とは？

A6:福島県三春町の「三春滝桜」(ベニシダレザクラ)、山梨県北杜市の「山高神代桜」(エドヒガンザクラ)、岐阜県本巣市の「根尾谷 淡墨桜」(エドヒガンザクラ)を指します。いずれの桜も、大正11年(1922年)に国の天然記念物に指定されています。樹齢が1000年以上で、幹回りが9メートル以上あります。

日本三大桜の開花予想作成にあたり、地元自治体やお寺の住職の方々のご同意を得て、過去の長年にわたる開花日や満開日の観測データを使わせていただき、それぞれの桜の開花日や満開日に関する独自の予測式を作成しました。開花時期には日本気象協会の気象予測を用い、地元自治体やお寺の住職の方々のご協力も得ながら、精度の良い開花予測を提供します。